

全国高等学校美術工芸研究会 岡山大会 分科会発表内容紹介

東京都高等学校美術工芸教育研究会 事務局
千代田区立九段中等教育学校
小 野

平成24年度の全国高等学校美術工芸教育研究会での研究について紹介します。

全国大会の研究冊子に掲載されている実践ですが、紙面の都合上、詳細はお伝えする事は出来ませんが、興味をもたれた方は、事務局まで声をかけてください。研究冊子を読んでいく中で、全国で活躍されている先生方の実践の中に、私たちが日頃向き合っている生徒たちに役立てるヒントがたくさん詰まっている事を感じました。なかなか、自身の教育実践を振り返る機会のない私たちですが、自分の行ってきた事を相対的に振り返ることも大事です。ぜひ、多くの先生方がつながり合って、研究を深めていけるように、この紀要も役立てていただけることを願っています。

第一分科会

「美術、工芸教育めぐる諸問題」

- ①生徒にとっての「美術」とは
～芸術に関する意識調査から見えてくるもの～
 - ・アンケートを集計した結果から見えてきたものについての分析
- ②新学習指導要領を踏まえた指導のあり方に関する研究
 - 中高の接続と、表現と鑑賞の相乗効果を目指した授業デザイン—
 - ・制作意欲を喚起する授業・教材、言語活動の充実、日本美術の鑑賞教育についての研究

- ③器を楽しむ
 - 使う・飾るをもっと身近に—
 - ・備前焼について学び、その後、オープン陶土を使った制作過程をへて、食器の用と美について学んだ実践
- ④視覚障害のある生徒の美術教育を考える
 - ・盲学校で行われている授業実践や作品を通じた交流活動・指導方法などの研究
- ⑤昨今の生徒の変化と美術・工芸教育のあり方について
 - 作品制作のための資料収集・資料整理能力の向上を目的とした課題研究—
 - ・言葉をキーワードにして、作品作りに扱う資料の整理についてまとめた実践
- ⑥色彩学習（色の組み合わせによる表現）について
 - 色鉛筆による彩色演習授業の実践—
 - ・色彩理論を色鉛筆を使った実践により身につけさせた実践
- ⑦総合学科における美術科目編成について
 - ・総合学科高校の美術系授業のカリキュラム編成についての研究
- ⑧年間指導計画の見直しについて
 - 幅広い題材に出会うことのできる授業実践—
 - ・普通科、理数科のある学校での授業のいくつかの題材についての実践

第二分科会 「自分との対話」

- ①自らの思いを見つめ、深め、伝えるポスター制作
 - 生徒の実態に応じた授業内容の模索—
 - ・アイデアノートを利用したポスター制作の実践
- ②見つめ 語り つくり出す
 - ・既製の小説などの本の表紙、本帯、POP制作をとおして、イメージを絵で表現した実践
- ③貝殻を描く日本画の制作
 - 生徒が自分自身を見つめ、自己と対話する

時間をつくる授業展開を考える

- ・二年生芸術科「絵画2」の授業での、日本画を使った授業実践

④自己と対話しながら展開する絵画表現油彩で靴を描く

- ・高1の最初の授業。自分の感じた色で油彩を使って靴を表現した授業実践

⑤クレイアニメーションの制作

- ・CGデザインコース高2「映像メディア表現」での15秒のアニメ制作実践

⑥ことばを使ったインスタレーション

—言葉の展覧会—

- ・ことばのパネルを様々な場所に設置し写真撮影し、プレゼンテーションや鑑賞活動を行った授業実践

⑦自己と向き合う抽象立体表現

1年美術I. 彫刻「私の種」

- ・種というテーマで生命観や可能性のある卵のような抽象立体を石膏を彫りあげて作った授業実践

⑧漢字—文字のイメージを形に

- ・漢字—文字からイメージを膨らませて、ウッディ粘土を使い立体で表現した授業実践

第三分科会「他者との対話」

①人のための美術

—見る人を楽しませる

パブリックアートを作ろう—

- ・公共の場に設置する事を想定して、紙を使い展開図から作った単純な立体紙を組み合わせたパブリックアートを制作した授業実践

②カップ麺パッケージデザイン

—商品ロゴを活かして—

- ・カップ麺のパッケージをデザインした授業実践

③暮らしの中の美術・デザインを考える

美術デザインをより身近なものに ～学校

デザインする～

- ・創立記念行事や総合的な学習の時間・美術館との連携による取り組みの紹介

④実業高校における美術教育

—商業科デザインコースの場合—

- ・外部の依頼を受けての作品制作などの授業実践

⑤「きれいとはなにか」

—自己満足と、人が感じるということ—

- ・細かい制限をつけた中でレタリングを行い、その中から生まれた違いや美しさを気づかせた授業実践

⑥版画でコラボレーション

—多版多色木版の授業実践—

- ・小さく単純な形の版画を使うことで、他者とのコミュニケーションを広げた授業実践

⑦作家とのコラボレーション展

—美術活動を通して特別支援

学校生徒の社会参加を考える—

- ・県内で活躍されている作家と生徒の作品を一緒に展示した作品展の実践発表

⑧「動画編集ソフトを使って自分の世界を表現しよう」

—映像メディアの領域における

授業の可能性について—

- ・普通科高校で生徒一人一台 i M a c を使った映像編集の授業実践

第四分科会「作品との対話」

①鑑賞のかたち

—造形、文章、言語表現・鑑賞活動の連携—

- ・美術工芸系の模写（鉛筆・油彩）・作品紹介レポート・立体表現などの授業紹介

②言語活動充実させた美術教育

- ・アンケート調査による授業での言語活動の取り組みについての研究

③ことばとえの相互作用を意識した制作の授業研究

- ・図書館で気に入った文章の中から気になった言葉を探しだし、その言葉からイメージしたスケッチや写真集などを組みあわせて文字と言葉で表現した作品の授業実践

④美術館と学校の連携による鑑賞教育

—主体的な鑑賞を支援するために—

- ・徳島県立美術館の学校との連携や鑑賞教育支援の取り組みについて

⑤日本美術の理解と効果的な指導について

- ・広島県高等学校美術工芸教育研究会の日本の美術文化の理解を深めるための授業についてのアンケートや授業実践の中での共同研究

⑥古典技法による絵画指導の授業実践

—グリザイユとテンペラによる絵画制作—

- ・絵画専攻の授業での自画像制作の実践

⑦校内での現代美術作品鑑賞

「創立136周年記念特別展

梶浦徳雄 一問一」

- ・卒業生の作家に協力してもらい、特別展を企画し鑑賞授業を行った実践

